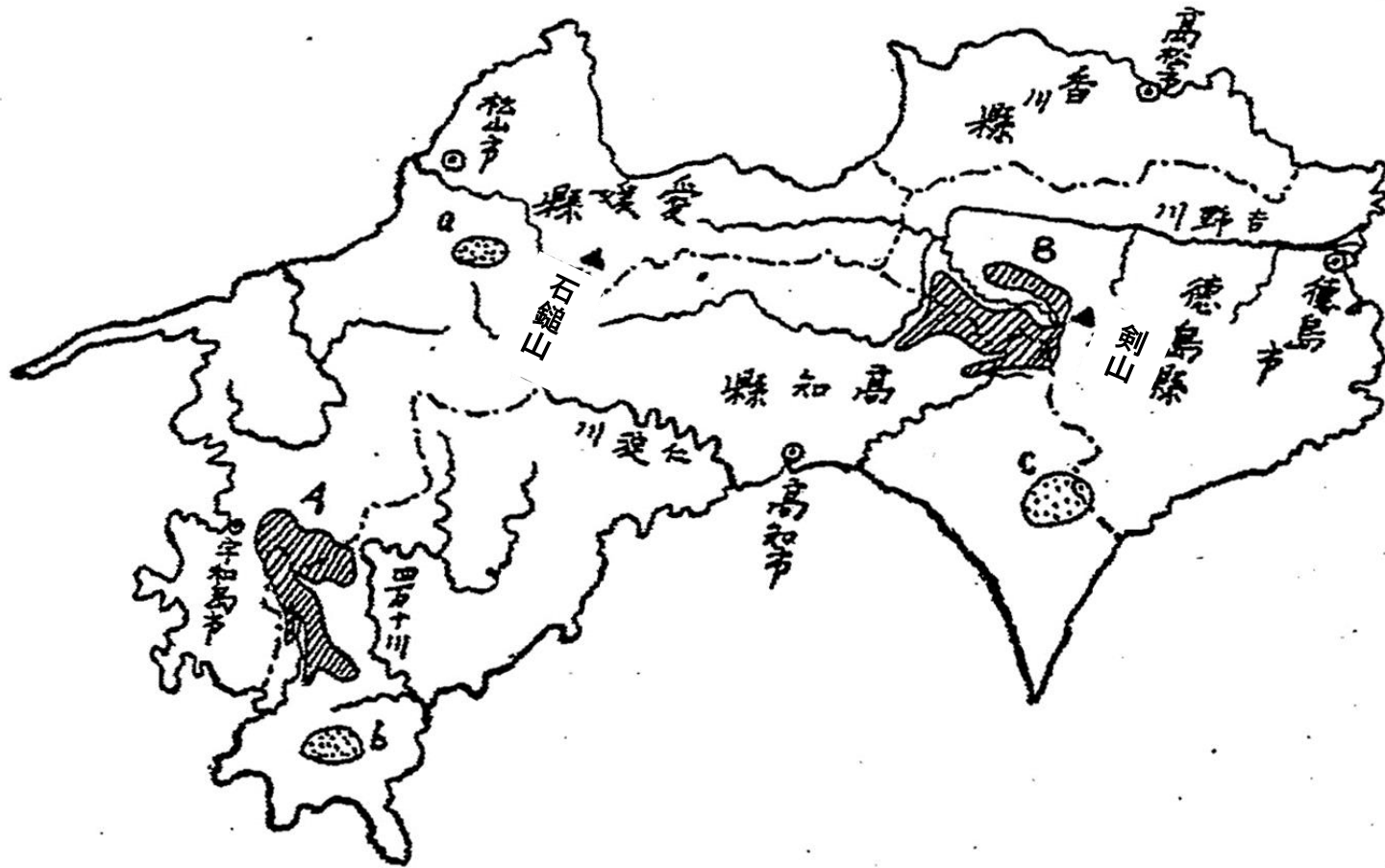


添付資料 2 四国における過去の分布

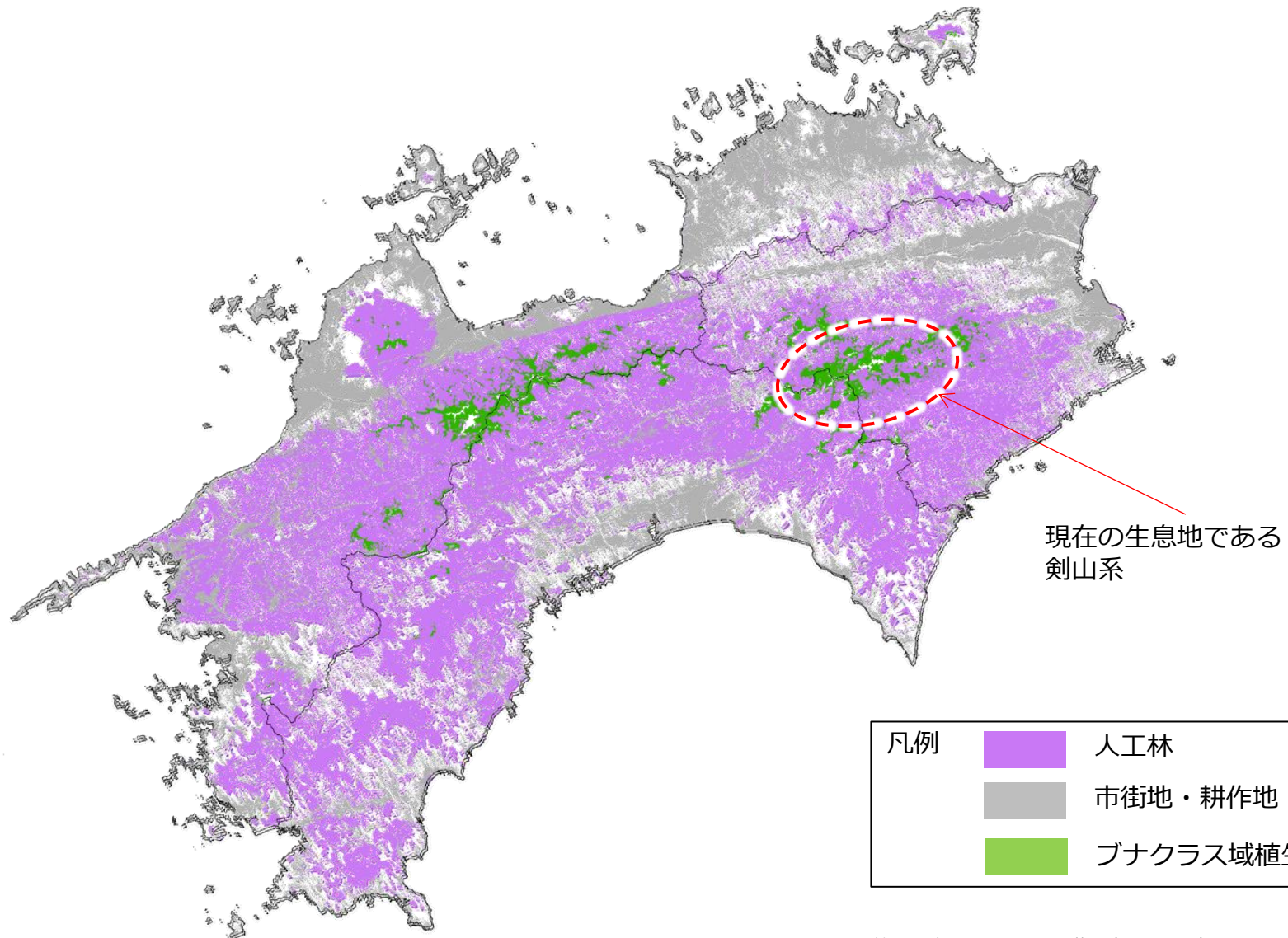
・約75年前のツキノワグマの生息状況
出典：岡藤蔵(1940)「四国に於ける熊の分布」を一部改変



凡例
斜線部のA、B：当時確認できた生息地
点線部のa、b、c：すでに確認できなくなっていた生息地

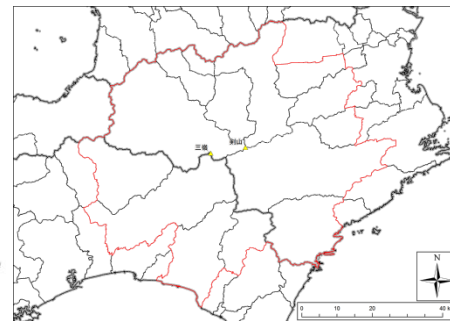
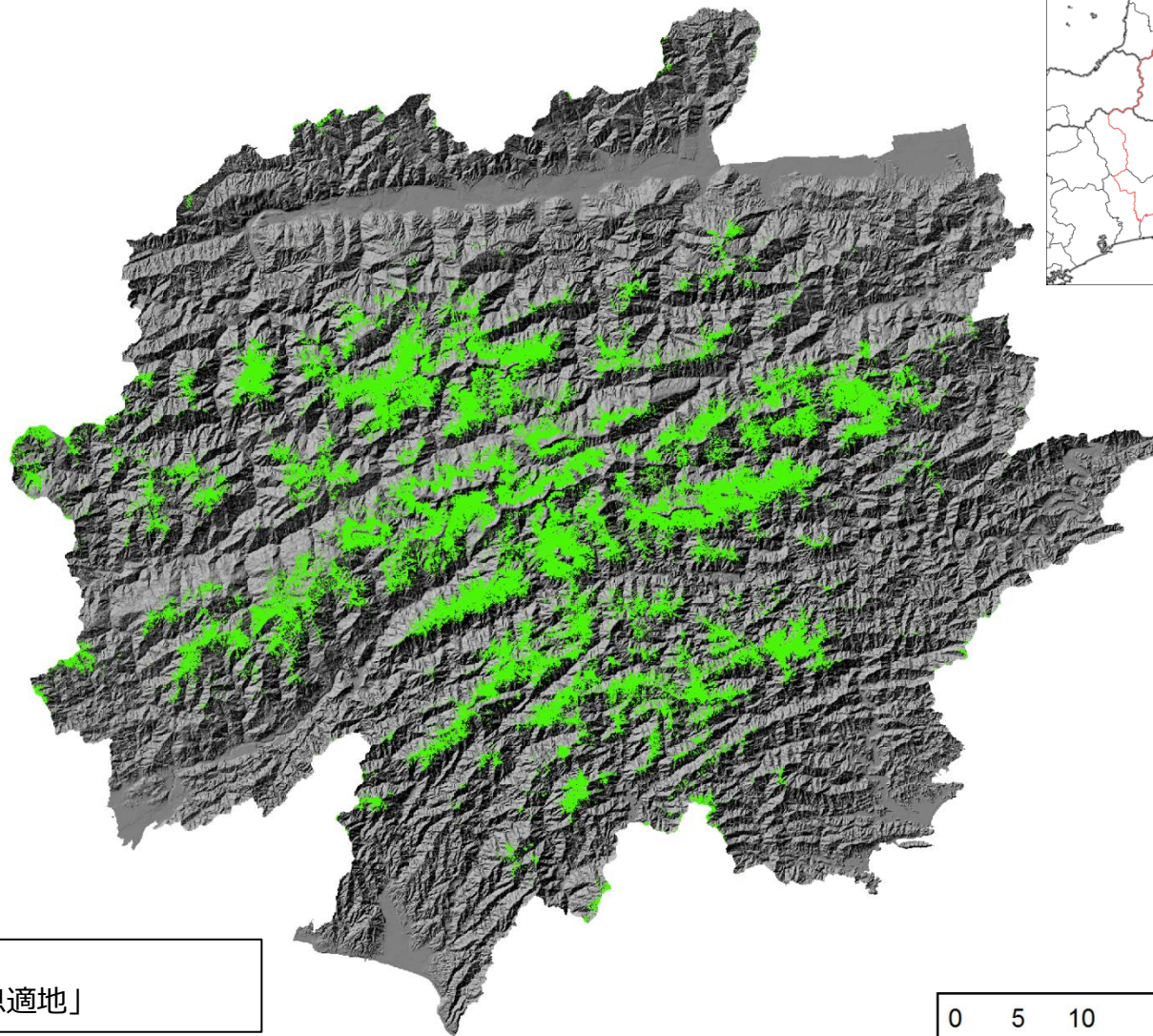
添付資料 3 四国の植生分布

- ・ ツキノワグマの生息に適している
ブナクラス域植生（落葉広葉樹林）が大幅に減少



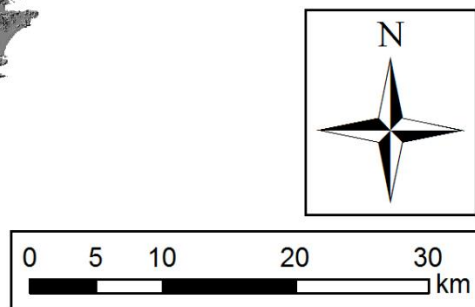
添付資料 4 クマの生息適地

・クマが利用する確率が高い場所の分布を推定したマップ



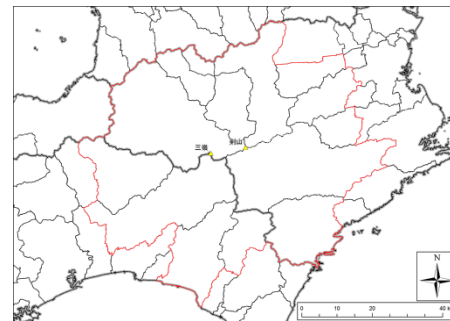
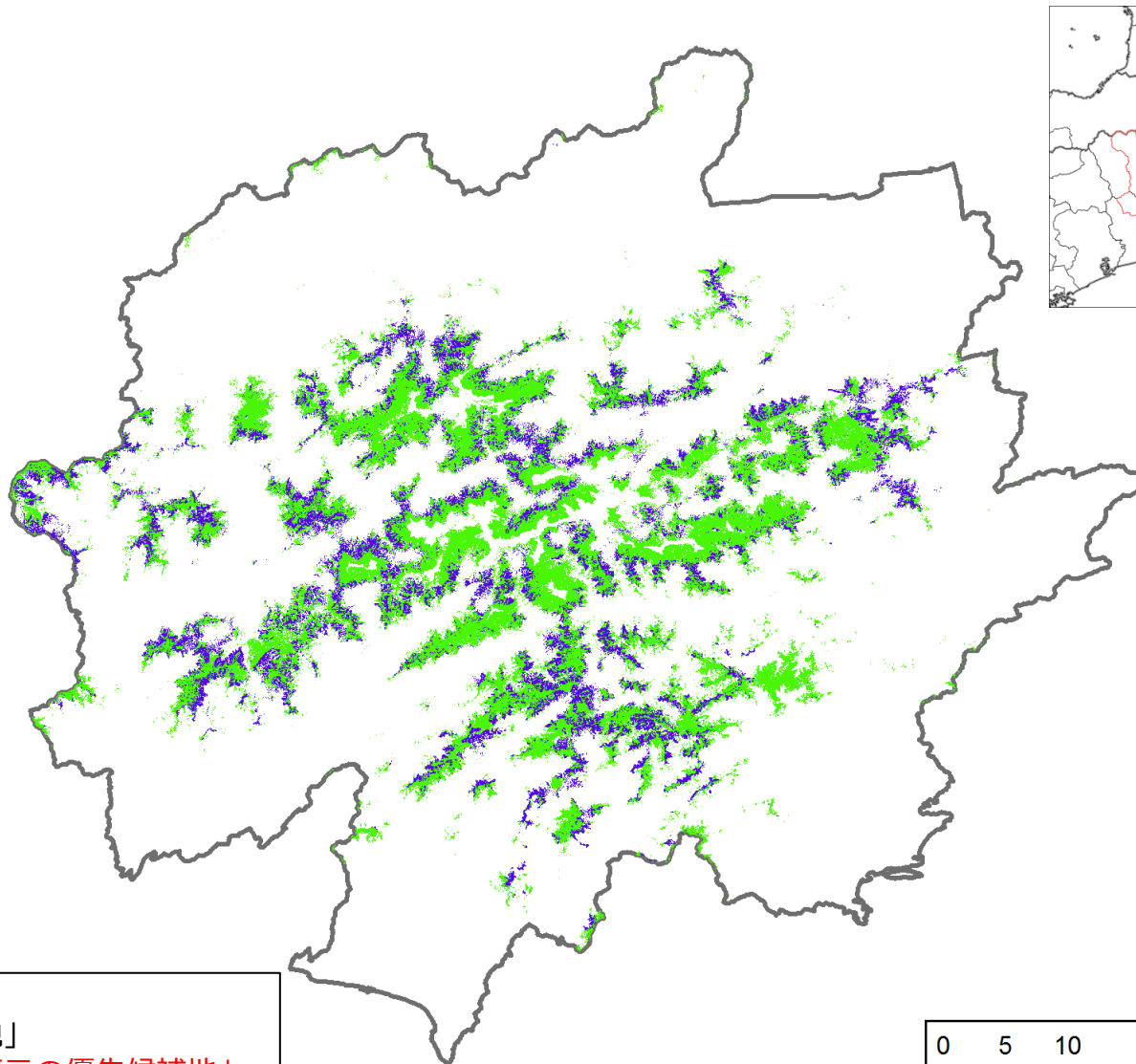
凡例
緑色：「生息適地」

基盤地図情報 数値標高データを利用



添付資料 5 生息地復元の優先候補地

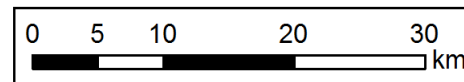
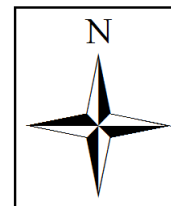
- ・ 標高900～1500mにある人工林を落葉広葉樹に
 転換した場合、生息適地となる場所



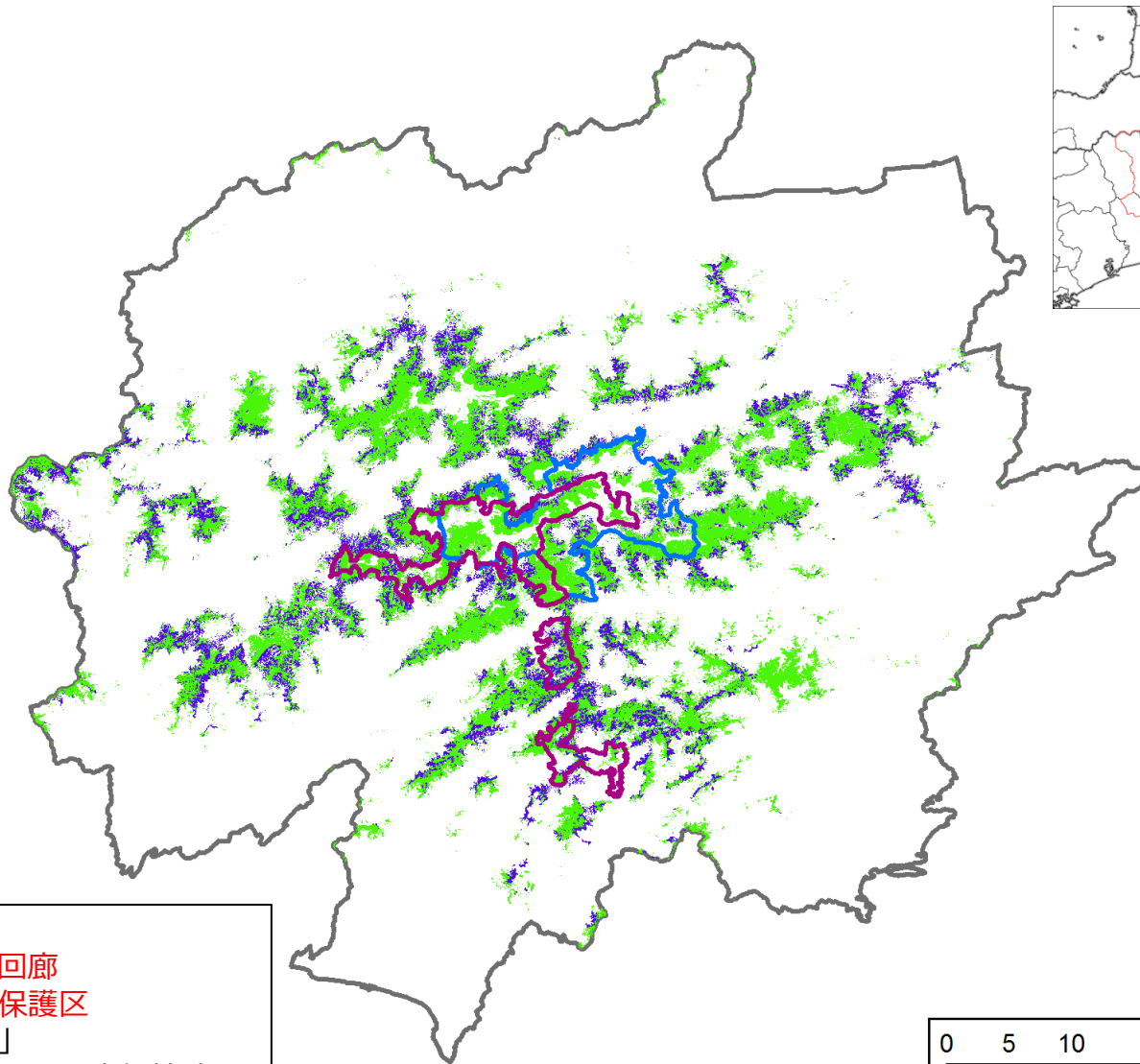
凡例

緑色：「生息適地」

青色：「生息地復元の優先候補地」



添付資料 6 - 1 生息適地と保護地域



凡例

紫色の枠線：緑の回廊

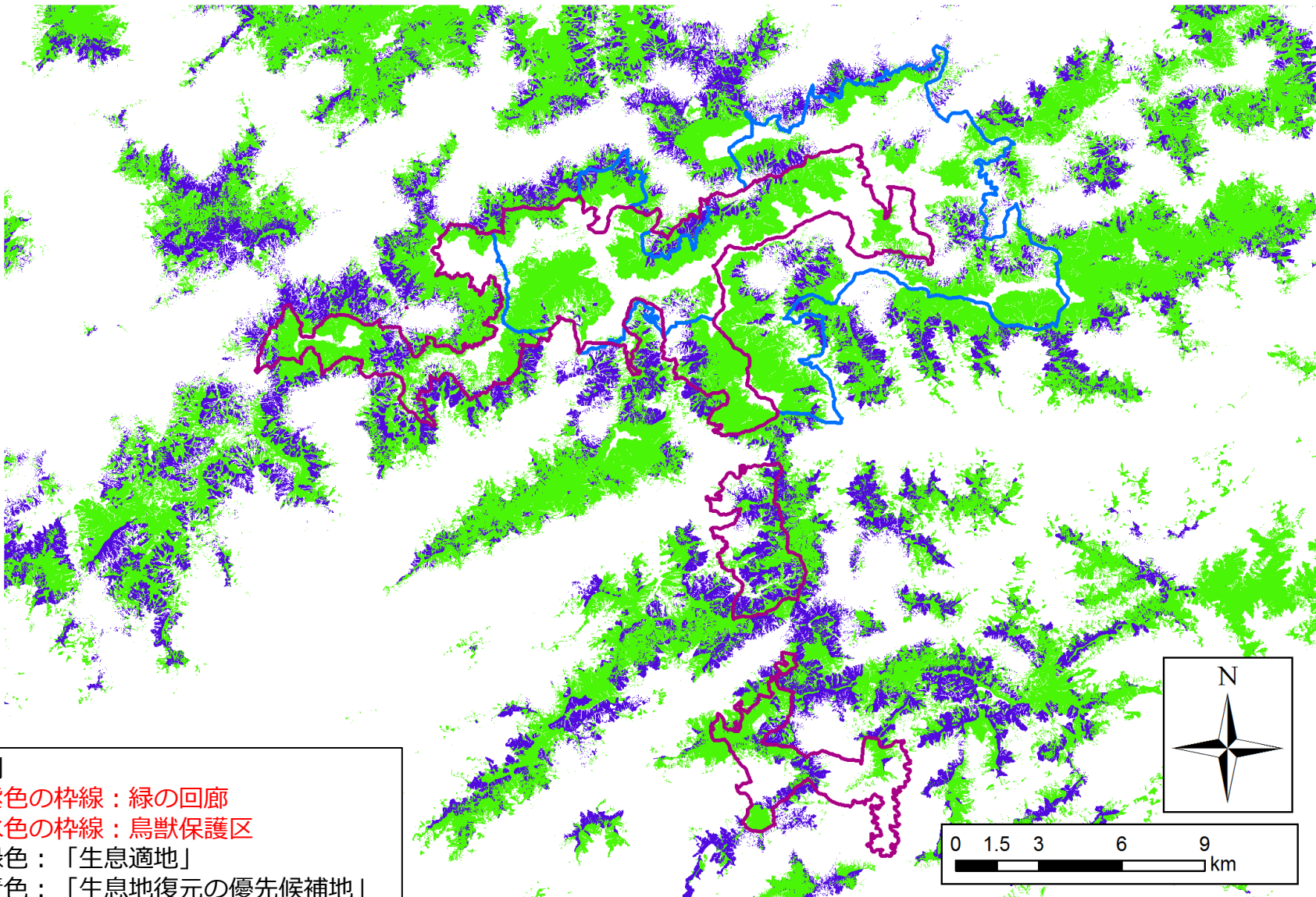
水色の枠線：鳥獣保護区

緑色：「生息適地」

青色：「生息地復元の優先候補地」



添付資料 6-2 生息適地と保護地域一拡大図



添付資料 7 生息適地内の堅果類の資源量

- ・ここでの堅果類とはブナとミズナラ
- ・堅果類の資源量をカロリーベースで地図化した

